

大都市圏戦略検討グループ 東京都ヒアリング資料



平成22年10月21日

目次

1 大都市圏の成長・発展のための方策

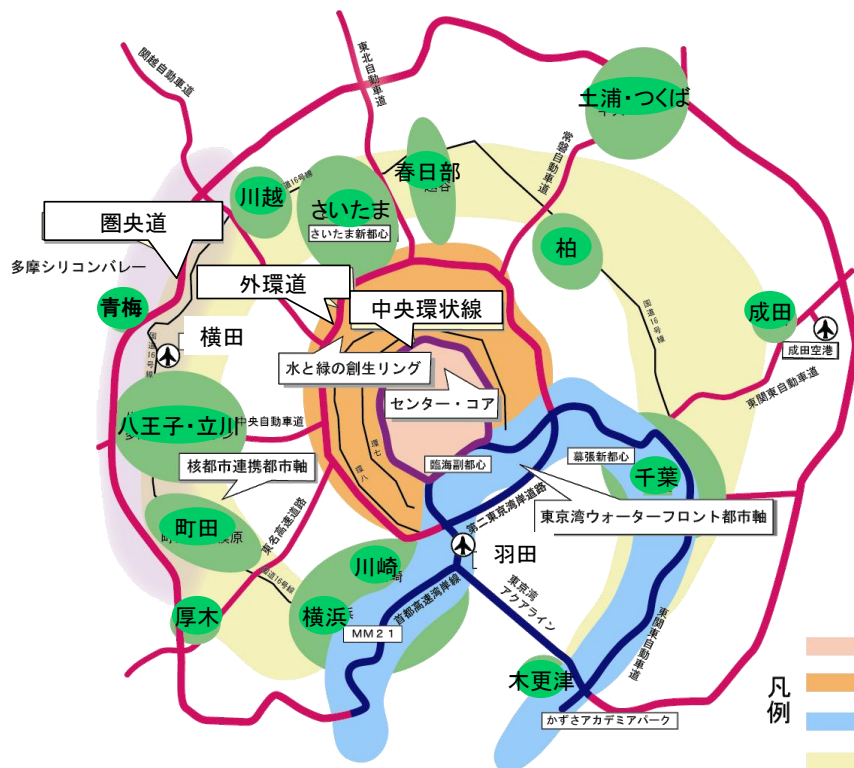
- (1) 長期計画等に位置付けられためざすべき将来像、方針等
- (2) 国際競争力強化等の観点から特に重要と位置付ける具体プロジェクト

2 広域調整が必要な課題

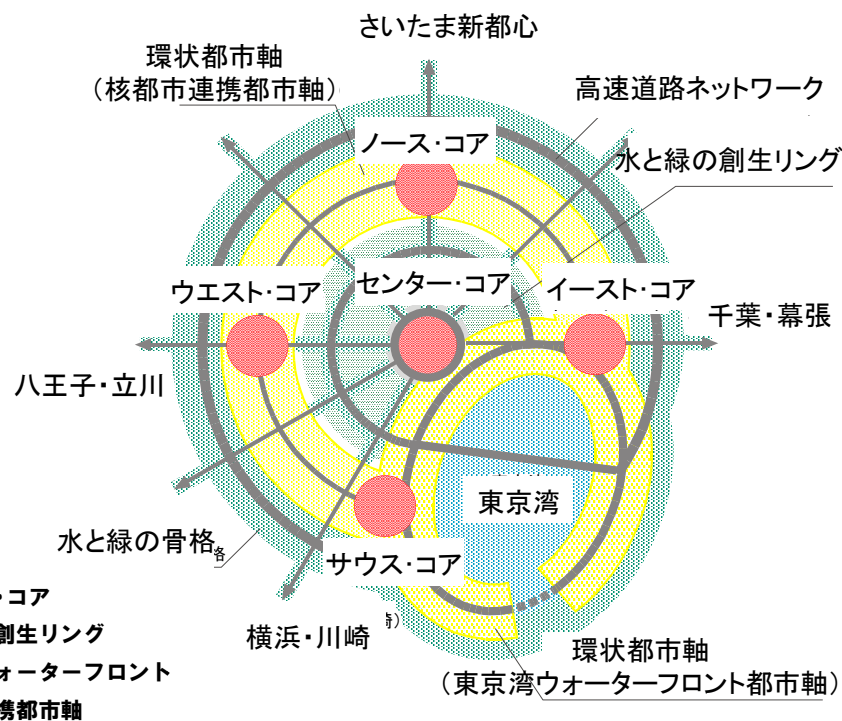
3 大都市圏戦略に求められる機能・役割

< 都がめざす広域的な都市構造 >

- 東京は、東京圏全体で首都機能を担い、圏域内の3,400万人を越える人口や諸機能と密接なかかわりを持ちながら、活発な都市活動を展開
- こうした状況を踏まえ、「東京構想2000」(H12.12)において、**多様な機能集積を生かしつつ、社会的、経済的に一体となっている東京圏全体の機能を最大限に発揮**する都市構造「環状メガロポリス構造」を提示



環状メガロポリス構造図



概念図

< 東京都が進める都市づくりの基本理念 >

「東京の都市づくりビジョン(改定)」(H21.7)

国際競争力の強化、安全、安心の確保に加えて、
「環境、緑、景観」の視点を一層重視した都市づくりの推進

世界の範となる魅力とにぎわいを備えた 「環境先進都市東京」の創造

6つの目標



- ・ 国際競争力を備えた都市活力の維持・発展
- ・ 持続的発展に不可欠な地球環境との共生
- ・ 豊かな緑や水辺に囲まれた美しい都市空間の再生
- ・ 独自性のある都市文化の創造・発信・継承
- ・ 安全・安心で快適に暮らせる都市の実現
- ・ 都民、区市町村、企業やNPO等の多様な主体の参加と連携

7つの基本戦略



- ・ 広域交通インフラの強化
- ・ 経済活力を高める拠点の形成
- ・ 低炭素型都市への転換
- ・ 水と緑のネットワーク形成
- ・ 美しい都市空間の創出
- ・ 豊かな住生活の実現
- ・ 災害への安全性の高い都市への実現

< 都市づくりビジョンに示す都市像 >

東京がめざす都市構造

○ 首都圏全体

環状メガロポリス構造の構築

- ・ 多様な機能を地域や拠点が分担し、広域連携による東京圏全域の一体的な機能の発揮を図る都市構造
- ・ 環境との共生をめざす都市構造

○ 身近な圏域

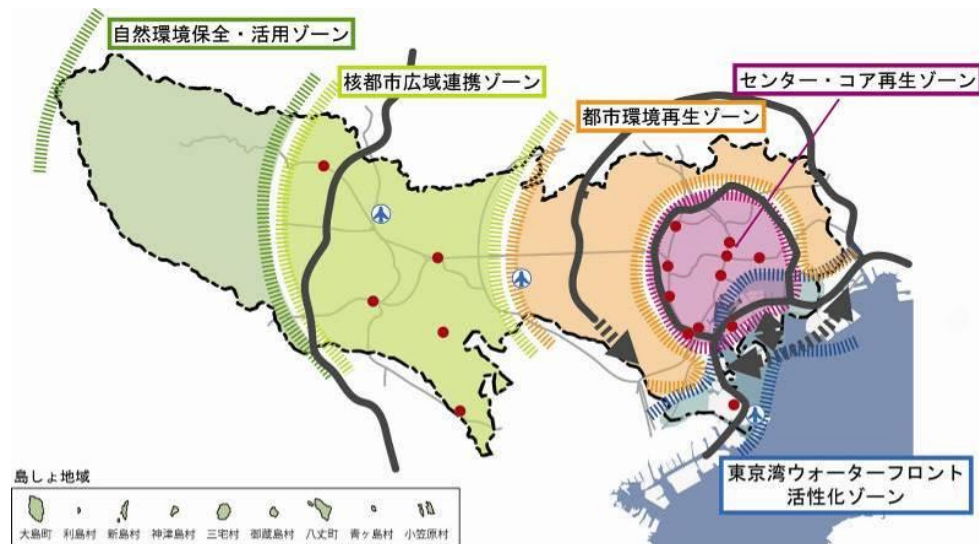
コンパクトな市街地への再編

- ・ 環境と経済活力が両立する都心
- ・ センター・コアの機能を高める中核拠点等
- ・ 多摩における自立都市圏の形成を担う核都市
- ・ 生活機能を共有できる暮らしやすい生活圈

地域像

○ 地域の特性を踏まえた都市づくり

- ・ 東京を5つのゾーンに区分し、広域的な視点を踏まえた将来像を、地域像として示す。



< 広域交通インフラの整備 >

都市活動を支える三環状道路の整備

○ 整備効果の高い外環の早期完成に向けて、取組の強化が必要

三環状道路の整備率: 47%

平成22年4月現在

■ 海外主要都市の環状道路整備率

ロンドン	ベルリン	パリ
100%	97%	85%
ソウル	北京	上海
100%	100%	85%

関越道～東名高速 約16km

事業中(H19.4都市計画変更、H21.5事業化)
→ 着実な整備促進が必要

東名ジャンクション以南

→ 環状道路の機能を発揮させるため、
具体的な検討が必要

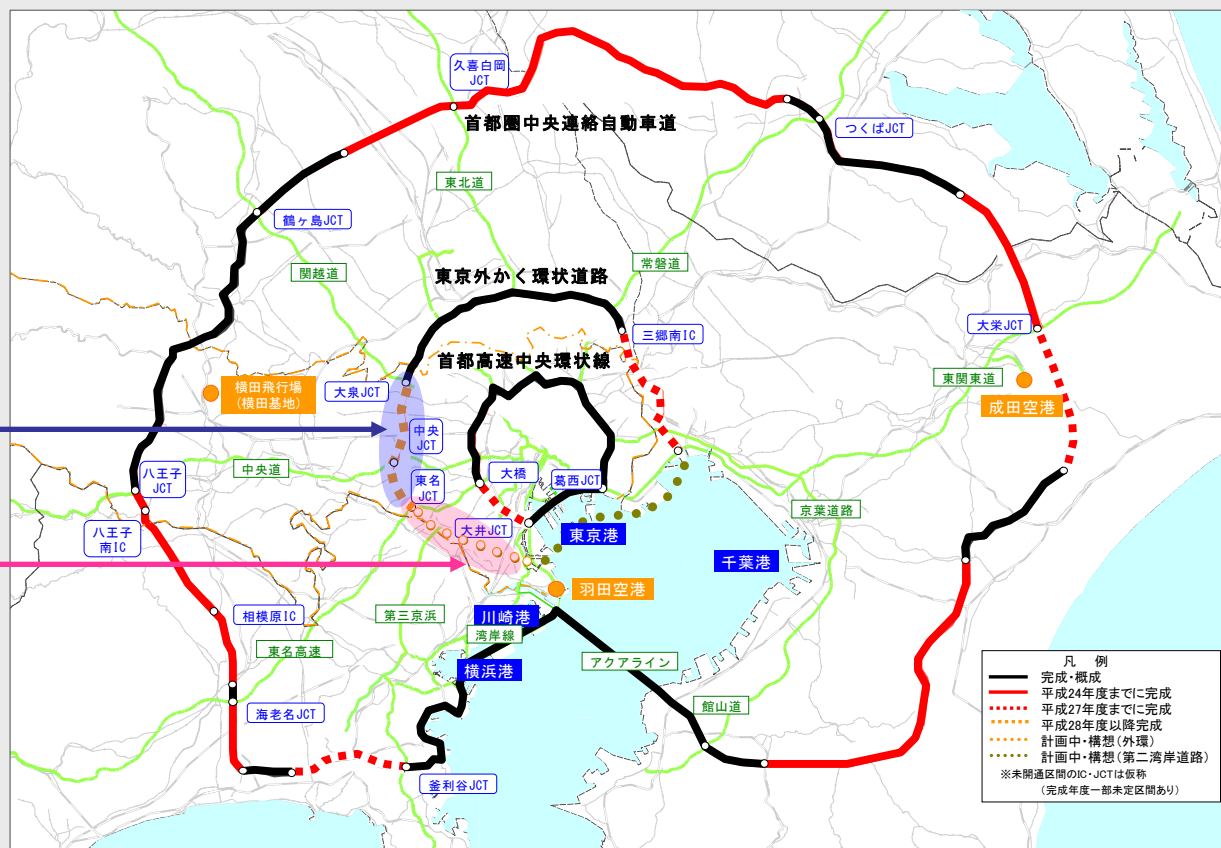
関越道～東名高速間の所要時間

(整備前)
約60分
(環状8号線)



(整備後)
約12分
(外環)

- ・ 大幅な移動時間の短縮
- ・ 定時制の確保が期待



羽田空港の機能強化と国際化の更なる推進

